

## The Green株式会社

バナメイエビの陸上養殖を完成させ、  
ブランド海老を作ります！

事業概要

福島県浜通りにおける沿岸漁業の操業自粛による漁獲量後退の現状を打開すべく、安価で提供できる陸上養殖の飼育管理システムを開発することにより、空き土地があれば誰でも陸上養殖に参入できる環境を構築し、福島発の安全・安心な生のエビを流通させます。

事業計画名

## 水産物陸上養殖における飼育管理自動化の実用化開発

## 現状・背景

東日本大震災以降、沿岸に生息する魚種から出荷制限は徐々に解除されてきているが、2011年以前の漁獲量と比較すると大きく後退している現状があります。現時点でも汚染水は完全に停止していない状況を鑑みると、まずは陸上での養殖から福島県の水産のイメージを変えていきたいと考えています。

## 研究（実用化）開発の目標

最終的に福島県でフランチャイズのように未経験者でも参入できる陸上養殖を行いたい。利益を追求する上で次の項目が重要となります。①コストが低い。②海老の生産量が多い。③安定して生産可能。

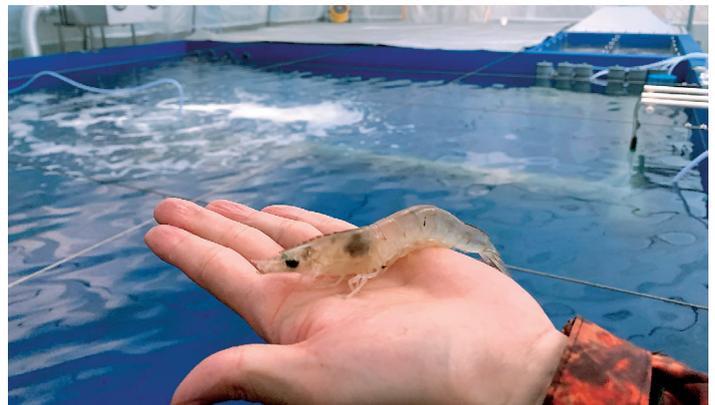
大部分について問題解決ができており、今回は最終ピースにあたる水質検査の自動化を行います。

## 研究（実用化）開発のポイント・先進性

南相馬市で最新技術を用いたバナメイエビ陸上養殖設備を構築済み。養殖場の初期投資を抑える技術として、①木材を用いて水槽を構築。②防水は塗料のみ。ランニングコストを抑える技術として。③ビニールハウス内で電圧を極限まで下げることが可能な特殊なヒーターで空気を加温し、水温を一定温度で安定。

これ以外にも次の機能を実装済み。④成長速度を早くする技術。⑤殺菌など安全安心に養殖する技術。⑥水の入れ替え無しで養殖を可能にする技術。

現在、開発中の水質自動検査システムは養殖場で問題が発生するとスマートフォンにアラームが表示され、これまでの推移をグラフで確認することができます。



南相馬市のバナメイエビ陸上養殖試験場

浜通り地域への  
経済波及効果（見込み）

本事業は飼育管理自動化システムとエビの陸上養殖のセットにより、土地さえあれば陸上養殖を安価で簡易に開始できるビジネスモデルとなります。弊社が自社で運営するだけでなく、参加者に広く門戸を開くことにより、福島県内での陸上養殖経営者及び雇用の創出、現在使用されていない耕作放棄地等の使用が期待できます。

1 養殖場 = 0.5ha = 雇用 4 名

## これまでに得られた成果

日本における養殖は1993年をピークに規模は減少しており、世界的に見ると養殖後進国と言える状況にあります。その中でまずは最先端の技術・手法を導入することが最優先となります。弊社では1㎡あたり平均100匹と言われる中で350匹まで飼育可能な技術や永続的に殺菌を行う技術などを導入した養殖設備を福島に設置し、生産に向けた研究・開発の最終フェーズとなっています。

開発者からの浜通り復興に  
向けたメッセージ

The Green 株式会社  
代表取締役  
北出 慎一郎

日本国内で養殖業が1993年をピークに減少する中、世界では成長を続け、漁業を養殖が超える勢いです。国内自給率が55%まで減少した日本では今こそ完全陸上養殖を推進していくことが必要と考えます。輸入率95%以上の海老をどこまで国産できるかチャレンジしていきます。

## 事業者の連絡先

The Green 株式会社 東京都港区南青山2丁目2番15号 Win Aoyamaビル UCF9階 ☎03-4405-3652（担当：代表取締役 北出 慎一郎）Mail：info@thegreen.jp